

令和3年度事業の進捗報告

1. 公衆便所維持管理事業

4月 伊吹山施設の開設

2. お花畑維持管理事業

4月 植生植生防護柵維持管理事業（支柱修繕・ネット上げ）をスタート。

5月 植生防護柵ネット設置終了。（伊吹山観光振興会・米原市シルバー人材センター）

5月 シカ追い出し作業実施。（高柳顧問指導・猟友会参加・ドローン活用）

3. 登山道維持管理事業

6月 山頂東登山道ロープ張り替え事業終了。（伊吹山もりびとの会）

4. パトロール事業

4月 山頂公衆便所の開設に合わせて、AED設置。

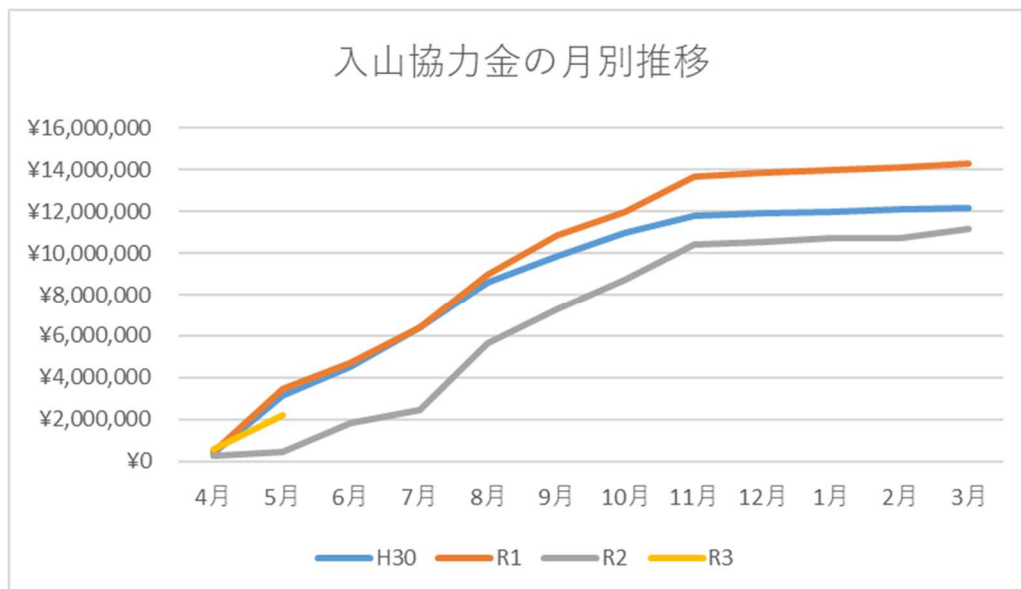
コロナ対策事業として、伊吹山4個所の公衆便所にハンドソープ設置。

5. 啓発・収受事業

4月 インフォメーションセンターを開設。（上野区）

入山協力金の推移

	H30	R1	R2	R3
4月	¥365,640	¥435,431	¥240,447	¥556,238
5月	¥3,160,441	¥3,474,898	¥413,104	¥2,227,572
6月	¥4,487,084	¥4,697,439	¥1,845,893	
7月	¥6,376,767	¥6,413,701	¥2,460,388	
8月	¥8,585,503	¥8,970,064	¥5,655,076	
9月	¥9,836,061	¥10,860,435	¥7,306,541	
10月	¥10,956,332	¥12,009,629	¥8,731,784	
11月	¥11,784,184	¥13,698,191	¥10,421,804	
12月	¥11,899,037	¥13,847,831	¥10,570,674	
1月	¥12,003,589	¥13,961,774	¥10,741,697	
2月	¥12,129,725	¥14,102,146	¥10,741,697	
3月	¥12,172,035	¥14,302,594	¥11,146,549	



桑新

厚野

(第3種郵便物認可)

夏へ 獣害ネット補修

伊吹山の山野草 シカから守れ

豊富な山野草で知られる滋賀、岐阜両県にまたがる伊吹山(一、三七七㍎)。その山野草をシカの食害から守るための獣害ネットが、昨冬の大雪の影響で倒壊するなど、大きな被害が出ている。夏の山野草シーズンに向け行政や地元住民らが必死に補修作業をしている。

(磯貝元)

米原市職員や住民

大雪で倒壊した獣害防護の金属網を必急処置する市職員ら
ゆがんだ獣害防護網の柱。いずれも米原市の伊吹山山頂付近で



伊吹山では十年ほど前か一て対策をしている。布製やらシカの食害によりユウス 金属と布を組み合わせたネゲなどの山野草が激減、獣 ット、強固な金属網を使うな害ネットを設置するなどしと試行錯誤をしている。



十五日は米原市職員や地元住民ら十人ほどが集まった。九合目の駐車場から中央登山道を上り、ネットの状況をチェック。わずか一カ月前に設置したネットが破られた部分もあり、参加者の一人は「こんなに早くやられるとショック」とため息をついた。

山頂に到着すると、大雪の重みで倒壊した南側斜面の金属網の補修をした。太さが五㍎ほどもある鉄柱が見事にひしゃげていた。作業に参加した資材業者は「伊吹山の大雪と強風で曲がってしまったのでは」と推測。現場は傾斜二十度ほど

もある急斜面。落石や滑落に注意しながら、応急処置として布製のネットを張った。

市の担当者によると獣害ネットの補修作業は例年一週間ほどで終わるが、今年には被害が大きく、四月から三カ月ほどかかっているという。この日参加した地元住民の鹿取清己さん(50)は「シカは一日に数㍎の草を食べるので、ほっといたらシカが食べないものばかりが残ってしまう。シカとの戦いが続きます」と話した。

長兵・ウボウの私募債
活用し映像機器寄贈

大垣共立銀

大垣共立銀行(岐阜県大垣市)は、フボウ電子(長浜市平方町)が発行した「OKB地域応援私募債」を活用し、湖北地域の小学生を演劇活動やコンサーに招待する活動などに取り組む団体「あしながほほえみプロジェクト」に映像機器などを贈った。

OKB地域応援私募債は、私募債の発行企業から